

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第3部門第2区分
【発行日】平成16年11月18日(2004.11.18)

【公表番号】特表2000-504724(P2000-504724A)

【公表日】平成12年4月18日(2000.4.18)

【出願番号】特願平9-529372

【国際特許分類第7版】

A 6 1 K 31/722

A 6 1 P 3/06

A 6 1 K 31/197

A 6 1 K 31/375

A 6 1 K 31/415

A 6 1 K 31/455

A 6 1 K 31/4965

【F I】

A 6 1 K 31/715 6 0 6

A 6 1 K 31/00 6 0 3 L

A 6 1 K 31/195 6 0 2

A 6 1 K 31/375

A 6 1 K 31/415

A 6 1 K 31/455

A 6 1 K 31/495 6 0 2

【手続補正書】

【提出日】平成16年2月4日(2004.2.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

手 続 補 正 書

16.2.-4

平成 年 月 日



特許庁長官 今 井 康 夫 殿

1. 事件の表示 平成9年特許願第529372号

2. 補正をする者

事件との関係 出 願 人

氏 名 ファーダ イーヴァン

3. 代 理 人

住 所 東京都千代田区丸の内3丁目3番1号
電話 (代) 3211-8741

氏 名 (5995) 弁理士 中 村 稔



4. 補正命令の日付 自 発

5. 補正対象書類名 明細書

6. 補正対象項目名 請求の範囲

7. 補正の内容 別紙記載の通り

方 式 査 査



請求の範囲

1. キトサンとニコチン酸を含み、該キトサンがニコチン酸に対して0.67～360の重量比で存在することを特徴とするコレステロール低下製剤。
2. 前記製剤が、キトサンとニコチン酸の乾燥粉末混合物の形態である、請求項1に記載の製剤。
3. 前記キトサンとニコチン酸が、前記製剤に少なくとも部分的にキトサンーニコチン酸塩の形で存在し、及びキトサン遊離塩基をナイアシン水溶液で処理して調製される、請求項1又は2に記載の製剤。
4. 投与量単位の形態である、請求項1～3のいずれか1項に記載の製剤。
5. 前記投与量単位製剤が、前記製剤の粉末混合物を含むゼラチンカプセルの形態である、請求項4に記載の製剤。
6. 少なくとも1種の付加的な水溶性ビタミン酸を含む請求項1～5のいずれか1項に記載の製剤。
7. 前記水溶性ビタミン酸が、アスコルビン酸、葉酸、パントテン酸及びビオチンからなる群から選ばれる請求項6に記載の製剤。
8. キトサンとニコチン酸が、少なくとも部分的にキトサンーニコチン酸塩の形で存在する、請求項1～7に記載の製剤。
9. 投与量単位が、キトサン2～18g/日及びニコチン酸50～3000mg/日である、請求項4に記載の製剤。
10. 水溶性ビタミン酸の吸収を遅延させ、大腸のpHを低下させるのに十分な量のキトサンと水溶性ビタミン酸を含む、水溶性ビタミン酸の吸収を遅延し、哺乳類の大腸のpHを低下する製剤。
11. 哺乳類の血清中の高密度リポタンパク質(HDL)のレベルを増加するのに効果的な量のキトサンとニコチン酸の乾燥混合物を含む、哺乳類の高密度リポタンパク質のレベルを増加する製剤。
12. キトサンとニコチン酸を含み、該キトサンがニコチン酸に対して0.67～360の重量比で存在することを特徴とする、脂肪吸収低下剤。
13. 水溶性ビタミン酸の吸収を遅延し、大腸のpHを低下するための薬剤の製造における、水溶性ビタミン酸及びキトサンの使用。

14. 血清中のコレステロールの低下のための薬剤の製造における、ニコチン酸に対するキトサンの重量比が0.67～360であるキトサンとニコチン酸との配合物の使用。

15. 血清中の高密度リポタンパク質(HDL)のレベルを増加するための薬剤の製造における、キトサンとニコチン酸の乾燥混合物の使用。

16. 血清中の脂肪の低下のための薬剤の製造における、ニコチン酸に対するキトサンの重量比が0.67～360であるキトサンとニコチン酸との配合物の使用。